【板書計画５／９時間目】

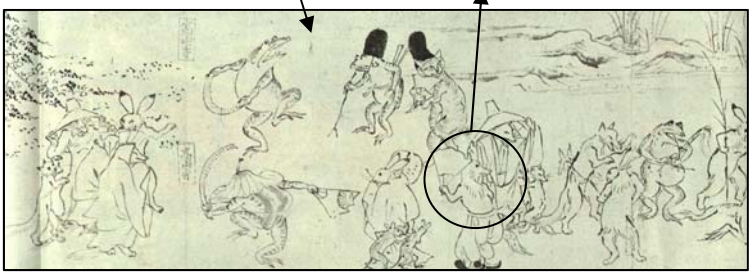
めあて

絵を見て読み取ったことをもとにして、自分の言葉で絵を評価しよう。

①絵から想像したり感じたりしたこと

想像したり感じたりしたことを伝える言葉

○部分を見て
・まるでおどりのしんぱんをしているみたい
・（　　）
○全体を見て
・秋の祭りのように感じられる
・（　　）
など



※教材文とは違う場面の『鳥獣戯画』の絵から一場面を選び、拡大して提示します。

※児童の発言に合わせて板書します。

②絵のすばらしいところ

絵をほめる言葉

・線が生き生きとしている
・色のこい、うすいがよく出ていて見事だ
・動物たちの表情を個性豊かにえがいている

※児童の発言に合わせて板書します。

【５／９時間目　指導略案】　使用するワークシート「『鳥獣戯画』を読む」④

本時のねらい

絵を見て読み取ったことを基にして、自分の言葉で絵を評価し、考えを広げたり深めたりさせる。

１　前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

○　学習計画表を提示し、本時の学習のめあてを確認させる。

２　これまで学習してきた筆者のものの見方や「読み取ったことや感じたことを表す表現」を想起する。

○　絵を評価する観点として次の二点を示す。
　①絵から想像したり感じたりしたこと
　②絵のすばらしいところ

※　三時目で作成した「読み取ったことや感じたことを表す表現」の一覧表を提示し、具体的な言葉を想起させるとよいでしょう。

３　一枚の絵を見て、自分なりの言葉を使って絵を評価し、話し合う。

○　教材文の『鳥獣戯画』とは別の場面の絵を提示し、全体を見せたり部分を見せたりしてイメージをつかませる。

○　個人で評価をさせ、付箋に書き込みをさせ、ワークシートに貼らせる。
　①絵から想像したり感じたりしたこと→「想像したり感じたりしたことを伝える言葉」を参考にする。
　②絵のすばらしいところ→「絵をほめる言葉」を参考にする。

○　少人数で絵の見方や評価の言葉を交流させる。

○　全体で交流させ、「読み取ったことや感じたことを表す表現」を用いているか確認させる。

４　話し合ったことを基に自分の評価に付け加えをする。

○　話し合いの後、評価したものが一目で分かるように色の違う付箋に書かせるようにする。

評価　絵を見て読み取ったことを基に絵を評価し、交流することで自分の考えを広げたり深めたりしている。（読オ）

５　様々な場面で使われている「読み取ったことや感じたことを表す表現」を見付ける。

○　児童が興味をもてるような本の帯やコンサートのちらし、映画の案内などの文章を紹介し、それらの「読み取ったことや感じたことを表す表現」を見付けさせる。

※　他にも詩や俳句の鑑賞などにも「読み取ったことや感じたことを表す表現」が使われていることを紹介すると、更に実感させることができます。

６　本時の振り返りをして、次時の学習を確認する。

○　次時からは、自分の選んだ絵を使って解説文を書くことを学習計画表で確認させる。